

インマヌエル中目黒キリスト教会

2008年10月26日

聖日礼拝



メッセージ

病を負い、痛みを担うしもべ

イザヤ書52章13節-53章6節

竿代 照夫 牧師

聖書朗読

旧約聖書

イザヤ書52章13節 - 53章6節

13 見よ。わたしのしもべは栄える。
彼は高められ、上げられ、
非常に高くなる。

14 多くの者があなたを見て
驚いたように、
——その顔だちは、
そこなわれて人のようではなく、
その姿も人の子らとは
違っていた。——

15 そのように、

彼は多くの国々を驚かす。

王たちは彼の前で口をつぐむ。

彼らは、

まだ告げられなかったことを見、

まだ聞いたこともないことを

悟るからだ。

53章

1 私たちの聞いたことを、
だれが信じたか。
主の御腕は、
だれに現われたのか。

2 彼は主の前に若枝のように芽生え、
砂漠の地から出る根のように
育った。
彼には、
私たちが見とれるような姿も
なく、輝きもなく、
私たちが慕うような見ばえも
ない。

3 彼はさげすまれ、
人々からのけ者にされ、
悲しみの人で病を知っていた。
人が顔をそむけるほど
さげすまれ、
私たちも彼を尊ばなかった。

4 まことに、彼は私たちの病を負い、
私たちの痛みをになった。
だが、私たちは思った。
彼は罰せられ、神に打たれ、
苦しめられたのだと。

5 しかし、彼は、
私たちのそむきの罪のために
刺し通され、
私たちの咎のために砕かれた。
彼への懲らしめが私たちに
平安をもたらし、
彼の打ち傷によって、
私たちはいやされた。

6 私たちはみな、
羊のようにさまよい、
おのおの、
自分かってな道に
向かって行った。
しかし、主は、
私たちのすべての咎を
彼に負わせた。

説教

イザヤのメッセージ (37)

「病を負い、痛みを担うしもべ」

イザヤ書**52章13節**—**53章6節**

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「まことに、
彼は私たちの病を負い、
私たちの痛みをになった。」

(イザヤ53:4)

始めに

- **51—52章前半**：
神の大いなる救いの接近
- 「聞け—その1」(1-3節)：
イスラエルの起原の神秘に目を
留めよ
- 「聞け—その2」(4-6節)：
救いが近づいている
- 「聞け—その3」(7-8節)：
迫害に耐えよ

- 「さめよーその1」 (9-11節) :
贖い主の腕は力強い
- 「さめよーその2」 (17-23節) :
罰せられたエルサレムは回復する
- 「さめよーその3」
(52章1-10節) : 贖いを賛美しよう

- **52:11—12**：
古く罪深い生活スタイルを変えよ
- 第四の「しもべの歌」
(**52:13—53:12**)
- **42章**は「しもべの使命」
- **49章**は「しもべの困難」
- **50章**は「しもべの忍従」
- **52—53章**は
「しもべがなし遂げる贖い」

A. 苦難のしもべの紹介

(52:13—15)

1. しもべは使命を完遂する(13節)

- 「見よ」：エースの登場
- 「しもべは賢く振舞う」：
悟り、行う知恵

- 「高められ、上げられ、
非常に高くなる。」

(ピリピ^o2:5—11)。

2. 人々はしもべの姿に驚く(14節)

- 「その顔だちは、
そこなわれて人のようではなく」
: 悲惨な外観

3. しもべの業は大きな波紋を 生む(15節)

- 「多くの国々に注ぐ」：
贖いの波及
- 「王たちは口をつぐむ」：
想定外の救い

B. しもべに対する人々の評価 (53:1—3)

1. しもべに関するメッセージは 信じ難い(1節)

- 「だれが信じたか？」
： 神の意外な方法
- 「御腕は、だれに
現われたのか？」
： 救いの成就

2. しもべは「人間的魅力」を 欠いていた(2-3節)

- 「私たちが慕うような
見ばえもない」
：しもべの平凡さ
- 「彼はさげすまれ…
悲しみの人で」
：人の悲しみを経験
- 「私たちも彼を尊ばなかった」
：浅薄な見方

C. 贖いのための苦しみ(53:4-6)

1. しもべの苦難は、 罪の身代わりである(4-5節)

- 「まことに！」
： 真理を悟った驚き
- 「私たちは思った。彼は…
神に打たれ」
： 応報的思考

2. 罪は贖いを必要とする(6節)

- 「私たちはみな、羊のように
さまよい」
：罪は反逆
- 「主は、咎を彼に負わせた」
：身代わりの完成

おわりに

1. 十字架の事実を見つめよう
2. 私達の「傷」も直視しよう
3. 十字架を私に当てはめよう